

おもな内容

- ▶ 学校保健センター的事業の活動状況
- ▶ 昭和48年度学校環境衛生(照明環境)全国一斉調査集計結果について
- ▶ 校長訓話(5)
- ▶ 昭和49年度学校保健講習会(歯科)
- ▶ 第7回関東甲信越静保健主事養護教員研究集会に参加して
- ▶ 学校保健用品推薦公告

The School Health (No.104)

昭和49年10月1日発行

学校保健

(隔月発行)

発行 日本学校保健会

可児 重一

東京都港区芝西久保明舟

町20第18森ビル2号館8階

電話 (501) 3785

振替口座東京 98761

頒価 1部80円(送料共)

財団法人 日本学校保健会会報

学校保健センター的事業の活動状況

学校保健センター的事業は、昭和48年度に発足し、下記のとおり多くの事業内容を持ち、盛んな活動を開始したが、いづれも全く新しい発足であるので、初年度は基礎的な調査研究が主となっている。従って本年度以降において、ようやく本来の活動に入った。具体的な活動は、本年度末において、詳細な内容を報告書として刊行し、関係方面にお届けする予定である。

なお、各委員会の活動状況は次のとおりである。

企画運営委員会 (委員構成19名)

1. 委員会の目的

学校保健センター的事業即ち普及指導事業、調査研究事業及び健康相談事業を円滑に実施するため、年間事業計画の立案と促進を図るとともに、各委員会の連絡調整に当る。

2. 活動状況

(1) 昭和48年度においては、3事業の事業内容の調整及び各委員会の任務と委員選考の調整を図るとともに、四半期別事業推進状況の聴取を行った。

(会議開催回数 5回)

(2) 昭和49年度においても48年度と同様な活動を行う。

※ (普及指導事業)

『学校保健の動向』編纂委員会 (委員構成 4名)

1. 委員会の目的

わが国における学校保健の現状と課題及び学校保健関係団体等の活動状況並びに学校保健センター的事業の成果を収録した学校保健白書的な性格を有する『学校保健の動向』を編纂・発行し、広くわが国の学校保健関係者の活動の参考に供する。

2. 活動状況

(1) 昭和48年度においては、主として中央機関、団体等の学校保健活動を紹介することに主力を置いて編纂し、5,000冊発刊し、全国都道府県・市町村教育委員会、関係行政機関、団体及び大学に配布した。

(2) 昭和49年度においては、主として地方の保健活動を紹介することを目的に資料収集中。

※ (普及指導事業)

資料委員会

(委員構成 12名)

1. 委員会の目的

学校保健に関する国内・国外の文献・資料を収集、整理及び保存し、広く学校保健関係者の供用に資するとともに、これら文献資料の抄録を作成し関係方面に提供する学校保健資料センター的機能整備を行う。

2. 活動状況

(1) 昭和48年度

ア 国内における学校保健に関する文献・資料のうち、各都道府県及び市町村教育委員会、学校保健関係団体が昭和45年以後発刊したものを主として収集・整理、分析し、各刊に主論点を記載した抄録を作成した。

イ 国内における学校保健関係統計諸資料及び学校保健に関する著書221冊を購入し、整備した。

(2) 昭和49年度

ア 諸外国における学校保健に関する文献資料の収集を行うとともに、各資料等についての抄録を作成する。

イ 昭和48年度に引続き学校保健に関する国内地方資料を収集し抄録を作成する。

※ (調査研究事業)

健康度評価方法委員会 (委員構成16名)

1. 委員会の目的

児童・生徒の健康状態を評価する場合、従来の健康診断項目を中心とする評価方法では充分とはいえない。今後は、さらに進んで体力、生活環境、行動特性及び健康意識等総合的かつ全人的な見地から、今日のかつ適正な健康状態の評価の方法を見出そうとする。

2. 活動状況

(1) 昭和48年度

ア 文部省が昭和48年度に実施した運動機能検査(仮称)と児童・生徒の健康に対する意識、教員による日常観察による行動との関連性を調査するため、研究協力校4校(小学校2校、中学校

2校)を設け、当該校の児童・生徒を対象に次の調査を実施した。

- (a) 「健康度の自己評価」(児童・生徒対象)
積極的な健康度を見るため、体育的、心理的、行動方面に関する質問。
- (b) 「教師の側からの健康度の評価」(教員対象)
学校生活における元気、顔色、姿勢、運動習慣、耐久度等に関する質問。

イ 運動機能検査と形態、血圧、平衡機能、敏捷性など生理学的な機能の測定および心電図、尿検査など(東京都予防医学協会委託)の臨床的検査を研究協力校の児童・生徒約800名について実施し、それら相互の関連についての検討を行った。

(2) 昭和49年度

研究協力校の児童・生徒を対象に実施した諸調査を分析し、運動機能検査との関連を検討するとともに、運動機能検査結果と低学年スポーツテスト試案との関連について検討を加え、これらの結果と総合して、問題のあるものの選別方法および問題のある者についての指導基準の策定を進める。

※ (調査研究事業)

児童生徒健康調査委員会 (委員構成 22名)

1. 委員会の目的

児童・生徒の精神・身体ならびに行動の諸側面における健康の静的および動的な認識を確実にし、学校における健康管理のみならず、教育指導に対しても有効な健康情報の把握と活用にあ資するための健康調査の方法と、健康情報の電算機処理等について調査研究する。

2. 活動状況

(1) 昭和48年度

従来、学校・公衆衛生機関・事業場などで行なわれた各種の「健康調査」を広く検討し、上記の目的を達成するためには、単に定期健康診断前にアンケート調査を行なうに止まらず、日常の健康状態や生活行動についての学級担任教師や父母などによる継続的観察を十分に活用し、且つこれを反覆する必要がある、との見解に到達した。

(2) 昭和49年度

前年度の研究に基づき、日常健康観察記録、自覚症状調査、日常行動調査の3方向から調査・記録方法の具体化を進め、研究協力校4校(小学校3校、中学校1校)を設けて実態調査を実施している。

この成果を手がかりとして総合的健康調査方式を具体化し、再度協力校における調査を実施する。これによって健康調査方式を確定する。電算機システムによる健康情報処理については、これと併行して調査を進める。

※ (調査研究事業)

学校環境衛生委員会 (委員構成 15名)

1. 委員会の目的

学校環境衛生及び地域社会の環境と児童・生徒の健康及び学習能率との関連を調査研究し、学校環境衛生についての指導指針を策定する。そのため、学校環境衛生の効果的な検査方法と事後措置及び学校環境と地域社会の環境との関連性から調査研究を進める。

2. 活動状況

(1) 昭和48年度

ア 学校・地域社会の環境を児童・生徒、家庭及び教員がどの程度意識、理解しているかを調査するため、研究協力校4校(小学校2校、中学校2校)を設け、当該校の児童・生徒、父兄及び教員を対象に次のアンケート調査を実施し、現在集計整理中である。

- (ア) 「児童生徒の意識調査」(児童生徒対象)
日々の生活、机・椅子の利用、教室の空気・照明、飲料水、用便等の質問。
- (イ) 「家庭における環境調査」(父兄対象)
住居環境、こどもの日常生活、学習環境、家庭環境、地域環境に関する質問。
- (ウ) 「学校環境衛生に関する調査」(教員対象)
保健活動の体制、環境衛生活動と体制及び公害対策に関する質問。

イ 学校環境衛生の実態を把握するため、千葉県・埼玉県为学校薬剤師会に委託し、学校環境衛生基準に示されている15項目の実地調査を協力校を対象に実施しその成績を検討中である。

(2) 昭和49年度

昭和48年度に実施した意識・理解の調査及び実地調査の分析を行うとともに、各調査事項を再検討し、協力校以外の学校を対象に全国的規模で調査を実施する。

※ (健康相談事業)

健康相談(肥満)委員会 (委員構成 8名)

1. 委員会の目的

近年における食生活や生活環境の変化にともなう、児童・生徒等の体位がめざましく向上している反面、肥満傾向又はやせの児童・生徒が増加の傾向にある。この肥満又はやせを単に形態的に検討するだけでなく、体の内面及び生活環境等から調査・分析し、学校教育の現場における指導実践の指針を策定する。

2. 活動状況

(1) 昭和48年度

日常生活における食事の傾向、行動、健康状態等と肥満・やせの児童・生徒との関連を見るため、東京都及び埼玉県における研究協力校2小学校を設け、当該校の児童・生徒及び父兄を対象にそれぞれの委員所属の東京大学、東京学芸大学、国立栄養研究所、国立公衆衛生院などの協力のもとに次のようなアンケート調査及び測定を実施した。

- (ア) 「生活環境調査」 (イ) 「生活時間調査」
(ウ) 「食物調査」 (エ) 「食事調査」
(オ) 「運動機能測定」 (カ) 「身体機能測定」

(2) 昭和49年度

上記実態調査(アンケート調査及び測定)結果を集計分析し、その結果を事例として効果的な指導方法についての討論を重ねた上、学校における実地的な「指導の手びき」作成の検討を進める。

※ (健康相談事業)

健康相談(呼吸器疾患)委員会 (構成委員 9名)

1. 委員会の目的

近年注目されるようになってきた疾病のうち、呼吸

器疾患とくに気管支ぜんそくをもつ児童・生徒の学校における動態を明らかにし、ぜん息などの非結核性呼吸器疾患をもつ児童・生徒の学校における保健管理(健康相談・保健指導等)に関する指針を作成する。

2. 活動状況

(1) 昭和48年度

呼吸器疾患、とくにぜんそくをもつ児童・生徒の学校における動態を明らかにするため、学校保健領域で指導的立場で活動している養護教諭が勤務している学校のうち、小学校14校、中学校8校計22校を対象に動態調査を実施した。

調査項目 13項目(ぜん息発生事例、原則的取扱い、精密検査の実施、学校行事への参加、欠席の理由等)

調査の結果次の事項を明確にすることができた。

- ① ぜん息児の学年別、性別の頻度、原則的取扱方針の有無
- ② 児童・生徒の欠席率とぜん息、かぜ、呼吸器疾患との関連
- ③ 大気汚染とぜん息児の頻度との関係
- ④ 児童・生徒の生活背景(社会経済的要因)とぜんそく児の頻度との関係

(2) 昭和49年度

ア 48年度の動態調査の内容を再検討し、調査対象校を増加して本調査を実施するとともに、ぜん息対策の成功例及び失敗例の事例調査を実施分析する。

イ 研究協力校においてぜんそく児の健康相談を実施し、健康相談方法を検討する。

ウ ぜん息児の保健管理指導案の検討に入る。

※(健康相談事業)

健康相談(歯・口腔)委員会 (委員構成 8名)

1. 委員会の目的

児童・生徒に対する学校歯科活動は、生活的、教育的な管理と指導及び計画的、組織的に行う必要がある。

そのため、歯科保健に必要なことがらを、身につかせ、歯科保健に関する理解を生活化させる、う歯および歯肉炎の予防法を研究する。

そのため、次の方法により研究を進める。

- ① 合成樹脂によるう蝕予防法を学校歯科現場に導入する調査
- ② フッ化物を添加した洗口錠剤によるう蝕予防に関する調査
- ③ 刷掃指導による歯肉炎の予防と治癒促進に関する研究

2. 活動状況

(1) 昭和48年度

ア 樹脂塗布によるう蝕予防を、学校歯科に導入するため、器具の試作検討、管理方式等を研究し、研究協力校1幼稚園(4.5才児76人)に対して、合成樹脂を歯に塗布した。実施した回数実施した回数(16回)

イ フッ化物洗口錠剤によるう蝕予防は、研究協力校1幼稚園(園児73名)に対し、7回にわたって実施した結果を非協力校の児童と対比した場合う蝕抑制率は60.34%を示した。

ウ 刷掃指導による歯肉炎の予防は、研究協力校(中学校2校)の生徒に対し、10回にわたって指導し、歯垢附着状態と歯肉炎の発生、治癒傾向と密接な関係のあることを確認した。

(2) 昭和49年度

ア 樹脂塗布によるう蝕予防の研究及びフッ化物洗口錠剤によるう蝕予防の研究については、学年進行の追跡調査を実施し、基礎資料の収集を行う。

イ 刷掃指導による歯肉炎の予防の研究については、刷掃指導の継続と検査資料の分析を行う。また、う蝕と歯肉炎の予防を中心とした健康相談の効果的な進め方について研究を進める。

昭和48年度 学校環境衛生(照明環境)

全国一斉調査集計結果について

日本薬剤師会・日本学校薬剤師会

学校環境衛生に関する全国一斉調査は、昭和46年度から始まり、前2回は学校飲料水の管理状況について実施し、全国各学校の国・公・私立(幼・小・中・高・特・その他)約22,300校の実態を把握することができた。

これは、各都道府県の学校薬剤師が一定の調査カードを用い、同一期間内に調査したもので、この結果から全国各学校の飲料水管理に対する指導、改善の基礎データが得られた。

今回は、これに続き、前回と同じように「照度・照明環境」についての調査カードを使用、昭和48年10月～11月にわたって調査した結果を集計したものである。

調査の対象は、授業に使用している普通教室、特別教室を対象とし、従って職員室・図書室等は除いている。

調査項目は、調査校の対象全教室について、①照明設備の有無、②遮光設備(カーテン等)の有無、③常に暗い教室、④天候により暗い教室、の教室所有数を調査した。

また、照度計を使用して、その学校の授業時間中における「明るいと思われる教室」「暗いと思われる教室」各1教室を選び、①机上面の照度(集計には最低測定値を使用)②黒板面中央の照度、③黒板照明設備の有無、について測定調査した。

調査した学校は、国立70校、公立20,865校、私立144校、記載なし30校、計21,109校であって、そのうち、幼稚園は1,005園、小学校12,508校、中学校5,258校、高等学校2,083校、特殊学校250校、その他の学校5校である。

調査結果について、全調査校のうち公立校は、全体の94.4%にあたるので、昭和48年度文部省資料の公立校とを対比し検討を加えた。

調査率は、小学校51.1%、中学校51.2%、高等学校57.4%、特殊学校53.3%であった。

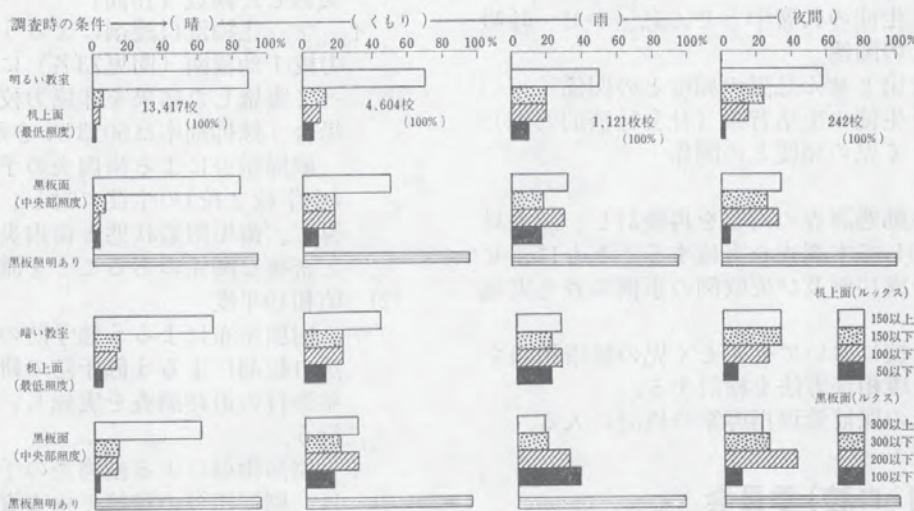
- 1 学級数：小・中学校の学級数は、12学級以上の学校は全体の約57%、3学級以下の小規模校は、それぞれ約8%となっているが、高校では12学級以上の学校が全体の約80%を占め、小規模校は、わずかに約2%となっている。
- 2 照明設備のある教室：ほとんどの教室に照明設備がないとした学校は、小学校で約3%、中・高・特の各学校では約1%で、ほとんどの学校に照明設備が設置されている。
- 3 窓のしゃ光設備：カーテン等の設備がほとんどな

いとされた学校は意外に多く、小学校で約12%、中・高校で約14%、特殊学校約28%であった。

- 4 常に暗い教室：学級のはとんどの教室が常に暗いとした学校は、小・中・特殊学校で、それぞれ約4%、高校では約2%であった。
- 5 天候により暗い教室：学校のほとんどの教室が天候によって暗くなるとした学校は、小学校で約15%、中・特殊学校で約13%、高校約4%である。
- 6 照度測定を実施した学校数：調査全校数の99.4%、19,927校の教室および黒板照度が測定された。

このうち、昼間授業校で測定時「晴」の学校は約13,400校、「くもり」約4,600校、「雨」約1,120校、夜間授業校約240校であった。「明るいと思われる教室」「暗いと思われる教室」における「机上面」「黒板面」の照度測定の結果を次の図に示した。

教室の机上面・黒板面の照度測定結果(出現率)及び黒板照明設置率



すなわち、この図は「学校環境衛生の基準」に示されている「教室内机上面照度」の最低照度150ルクス以上を示した学校の出現率、150ルクス以下、それぞれの最低照度を示した学校の出現率、また、黒板中央部の照度が「基準」300ルクス以上ある学校の出現率およびそれぞれの単位照度の出現率を表わしている。

以上、結果を総括してみると「照明設備あり」とした学校が比較的多いにもかかわらず「天候により暗い教室あり」とした学校が意外に多いこと、これが照度測定結果からも、測定時の天候の相違によって「机上面照度」150ルクス以上を保持できる学校が漸時減少

し、さらに黒板面照度となると、約96%の学校に黒板照明が設備されていないが、基準以下の学校が急速に増加していることは、照明に対する配慮に欠け、単に「照明が設備されている」というに過ぎない学校が多いことを示唆している。

また、昼間授業時の測定時「雨」の場合と「夜間授業校」とを比較すると「昼間授業校」の方が「悪い照明環境」となっており、この点からも照明環境について、その改善指導の必要性が認められる。

終りに臨み、本調査にあたり、ご協力いただいた文部省体育局保健課、ならびに各都道府県教育委員会に対して、深く感謝の意を表する次第である。

(文責) 平木

● 女子生理教育用カラーズライド

日本学校保健会監修

カラーオートスライド (66カット・15分、録音テープ、台本、マニュアルつき)

「いつものあなたでいるために」

— 月経の知識と正しい手当て —

■ 内容

月経の仕組みとはたらきを中心に、月経時についての考え方や生活管理の方法をわかりやすくまとめてあります。

■ 定価 95,000円

無料でもお貸しいたします。

お申込みまた、使用上の詳細については、下記へ、お問合せ下さい。



東京都港区高輪3-25-23
ユニ・チャーム株式会社
TEL 03 (449) 1555(代)

校長先生の訓話(5)

よい事をしよう

東京都大田区立大森第三小学校長
吉 川 正 雄

今月の学校でのくらしのめあては、「すすんでよい事をしよう」ということです。

みんな、よい事をしていますか。廊下を歩いていたら紙屑が落ちていた、拾ってポイと屑箱に捨てた。誰かさんがボール遊びをして、運動場にボールをおきっぱなしにしておいた。僕がボール箱にちゃんとかたづけしておいた。こんなちよつとしたことでもいい事なのです。気をつけて身のまわりを見ていると、よい事はどこにでもたくさんあるでしょう。よい事があつたぞと思ったら、すぐにそれをやる事のできる子が「大三のよい子」なのです。

この間、先生は全然知らない方からお手紙をもらいました。何が書いてあるのかしらと思って読んでみたら、こんな事が書いてありました。

「先日、私たち老人クラブの皆さんと旅行にでかけ、横浜駅から電車に乗ったら大三小の生徒さんも旅行の為か乗っておられました。——（これは6年生が伊豆高原へ移動教室に行く途中だったのです）——電車は満員で、こちらは70才以上の者ばかりでしたので、困ったなと思っておりましたところ、大三小の6年4組の女生徒の皆さんが親切に席をあけてくれましたので、大助かりすると共に大へんな喜びでありました。

生徒の皆さんは2人の席へ3人ですわるなどして、にこやかに協力して下さいました。」

お手紙はまだまだ続いているのですが、とに角、こんな事が書いてあつて最後に「心から厚く厚くお礼を申し上げます。老人クラブ会長・平本。」と名前が書いてありました。

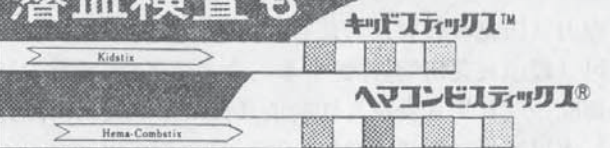
読み終わって、先生はほんとうに嬉しくてたまりませんでした。お年寄りに席をゆずるなどという事は、誰でも知っている事です。しかしいざとなると、しりごみをしてしまつて、誰もそういう事をしようとしなない。大三小のこの子たちは、明るく、気持よくその事をしてくれたのです。又先日は、「公園の鉄棒でけがをして泣いていたどこかの幼稚園の子を、手当をして家まで連れて来てくれた大三小の子どもがいる。是非お礼をしたいから、誰だか先生の方で調べて知らせてほしい」という電話が先生の所にかかってきました。

先生は、大三小の子はこんないい子の集りなのだと思つて、喜んでます。これからもよい事をたくさんして今月のめあてを立派にやりとげましょう。

初めに言ったように、よい事はどこにでもたくさんあります。見つけてすぐやればとてもよい子。見つけても知らんふりをしていたり、グズグズしてやるのをしぶったりしていると、よい事はどんどん逃げていってしまいます。えんりよしないでよい事をつかまえますよね。

お話が少し長くなりましたが、とても嬉しい事だったので、皆に知らせたくてお話ししました。今日はとてもいい天気。一日を明るく、楽しくくらしましょう。先生のお話はこれで終り。

学童の集団検尿には 潜血検査も



製造元：エームス事業部 販売元：三共株式会社
マイルス・三共株式会社

衛生無害・品質優良・経済的

純炭酸カルシウム製

特許

教学 **オンサン**
カルシウム チョーク

日本学校保健会推薦品

日本教学工業株式会社

東京都豊島区南大塚3-55-1



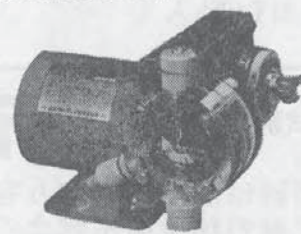
日本学校保健会推薦品

Nフィーダー

塩素減菌機として
始めて日本学校保健会推薦品

となりました

(定量注入ポンプ)



CS-100型

定量性・耐久性ともすぐれ保守管理はだれにでも容易にできます。

学校のプール
・ 飲水の塩素減菌
にご利用下さい。

日本フィーダー工業株式会社

大阪事業本部 大阪市西区土佐堀船町23 大阪商工ビル TEL(06)441-5181代表
東京支店 東京都練馬区北町2丁目24番3号 八光ビル TEL(03)931-5361
本社・工場 兵庫県朝来郡生野町1999 TEL(0796699)331

昭和49年度学校保健講習会(歯科)

文部省・日本学校歯科医会主催

学習指導要領が昭和46年度から小学校を手はじめに次々に改訂されたのに伴い、保健教育の比重が増してきたので、学校歯科保健をおもに現場に徹底させるため、文部省・日本学校歯科医会が共催で、全国を2分し、学校職員、教育委員会関係者、学校歯科医を各都道府県から平均的に集めて講習会を開くことになり、5ヵ年計画で、開催地と参加者を変えて、連続して昨年で3年を終わり、今年は第4年目になった。

講師は文部省の学校保健課と日学歯の学術部を中心に、日学歯発行の「学校保健における歯科活動の手びき」を出席者全員に配布して学校歯科保健への理解をふかめてもらう。また開催地の学校・歯科保健関係者の研究発表をまじえたシンポジウム、学校視察なども行なって2日間にわたって開催されるのである。

本年度は長野県で東日本各地からの参加者を集めて10月17・18日に、西日本は10月29・30日に長崎県で行なう。両県での日程は講義(1)~(5)が共通で、シンポジウムは若干ちがっている。文部省からの講師からは行政面、指導要領などについて話し、日学歯の講師は、保健指導の方法・配布した手びきについて話してきたが、3年目からは実際のなう蝕発生理論、予防、ブラッシングに重きをおくようになった。

長野県・10月17日(木)

午前：長野市山王小学校参観

午後：長野県勤労者福祉センター

講義(1)学校保健の動向 文部省学校保健課長

倉地 克次

シンポジウム：主題「歯に関する保健指導を効果的にすすめるためにはどうしたらよいか」

1 研究発表

- (1)学級指導における歯に関する保健指導の進め方
小海小学校、内藤千成・羽毛田湊人

- (2)保健に関する行事として行なう歯に関する保健指導の進め方、松川小学校 平林ひさ子
- (3)歯科保健について問題を持つ児童生徒の個別指導の進め方 湖南小学校 尾崎末雄、茅野武代
- (4)歯科保健を効果的に進めるための協力体制のあり方および進め方 松川北小学校 本島章吉
- (5)整備された洗口場を有効に活用したブラッシング指導の進め方 山王小学校 梶川 忠作
- (6)フッ化物イオン導入法を中心にしたう歯予防
長野県歯科医師会 石塚要次郎

II 協議

10月18日(金)

- (2)学校保健法施行令等の一部改正と学校歯科保健
文部省教科調査官 能美 光房
- (3)学校歯科における健康相談
日本大学教授 山田 茂
- (4)う蝕発生のメカニズムと予防
日本歯科大学教授 丹羽 輝男
- (5)ブラッシングの理論と保健指導の実際
愛知学院大学教授 榊原悠紀田郎

長崎県 10月29日(火)

講義(1)(2)シンポジウム：主題は同じ、出席者は以下のようですが、それぞれの立場から、たとえば学校経営上の歯科保健は校長、教育長は予算について、個別の保健指導は養護教諭というようです。くわしい演題は未定です。

岑力(国見町教育長)、長谷守(神代小学校校長)、緒形坦(教頭)、芝田明(保健主事)、金子道子(養護教諭)、片岡院一(P.T.A会長)、江崎清(長崎県学校歯科医会長)、永川達男(雪浦小学校長)

10月30日(水) 講義(3)(4)(5)

大腸菌群簡易試験紙

バクテスター1号

日本学校保健会推薦品

面倒な大腸菌群試験が誰にでも容易にできます。学校保健における衛生管理、汚染調査、児童の環境衛生観念の普及にご利用下さい。

バクテスター1号 専用 培養器 バクテロン[®]-37

本器は特にバクテスターNo.1(大腸菌群簡易試験紙)用に設計されたもので、消費電力もわずか6wで、電子回路により制御されておりますので、温度保持は正確でその上極めて安全です。



関 東 化 学 株 式 会 社

東京都中央区日本橋本町3-7 TEL03-279-1751

養護教諭のひろば(三)

第7回関東甲信越静保健主事養護教員研究集会

栃木県立芳賀高等学校養護教諭 菊地 道

去る8月21日より8月23日わたり、栃木県立宇都宮商業高等学校を会場として開催されたこの集会には、暑さにもかかわらず、約600名の参加をみて盛會に終了いたしました。これ一重に準備に携わった方々のたまものと感謝いたします。複雑化している現代の学校保健に対する熱意が会場に溢れるような雰囲気であり、職務に対する自覚を更に強くいたしました。つぎにその概要を御報告いたします。

1. 概要 主な日程はつぎのとおりです。

- 8月21日 全体運営委員会、班別運営委員会
- 8月22日 開会式、講演、分科会
- 8月23日 分科会

2. 講演 演題〔当面する学校保健の諸問題〕

講師 文部省体育局学校保健課
専門職員 吉田螢一郎

約1時間30分間にわたり、概ねつぎのような内容でありました。

教育目標を達成するために学校保健があり、人間として最も重要な健康生活を営ませる手段として学校経営の中に確たる位置づけをしなければならない。なお、いうまでもなく、学校保健には、保健教育と保健管理の二面があるが、これらが調和して行なわれ、児童生徒の健康増進に寄与しなければならないとのべられている。続いて、保主、養教の役割、主な執務について時代に即応して詳説されましたが、実務に迫われがちな私達にとって、また、新たな教育感と使命観を湧かせていただいたような意義深いものでありました。

3. 分科会概要

要項を見ればおわかりかと思いますが、研究主題はつぎのようでした。

第一領域〔健康診断〕

研究主題 学校における健康診断を効果的に進めるにはどのようにしたらよいか。

第二領域〔環境衛生活動〕

研究主題 学校における環境衛生活動を効果的に進めるにはどのようにしたらよいか。

第三領域〔保健教育〕

研究主題 学校における保健指導を効果的に進めるにはどのようにしたらよいか。

第四領域〔学校安全〕

研究主題 学校における効果的な安全管理と指導はどのようにしたらよいか。

第五領域〔保健室の管理運営〕

研究主題 学校における望ましい保健室の管理と運営はどのようにしたらよいか。

この五領域にわたり、15班の分科会が設けられたものであります。(班別研究協議題略)各分科会々場には、各県の学識経験の深い方々である指導助言者、司会者、記録者が置かれ、また、それぞれの分野に於いて現場で尊い実践記録を持つ発表者が熱意をもって研究発表されたわけであり、また、それぞれの分野に於いて現場で豊富な分科会でありました。このような小グループによる討議内容は、心の中に大きな収穫として持ち帰られたものと信じます。なお、多くの研究発表、指導助言は、新しい感覚と、合理的、具体的事例を示唆していただけたという感想は、多くの方々からきかれましたことは、大変喜ばしく思います。

私は、第三領域〔保健教育〕に、はからずも研究発表者として出席し、御意見、御指導を賜った関係上、他の分科会はわかりませんので、第9班を通して所感を申し述べたいと思います。

○講演にもありましたが、生涯教育の立場に立って、保健管理の強化と相まった保健指導を個別に、学級に、学校全体に、ひいては、父兄、地域へと指導、啓蒙していくことが社会の連帯性からより重視していく必要があると思います。特に、保健指導は、時代に即応して変化してきた保健法の改正、種々な診断、検査をとらえて検査のみに終らない、事前、事後の指導が、チャンスをとらえた最も効果的なものと考えます。なお、性教育については、今直面している大きな課題であり、研究体制、指導体系、指導案等にふれ、活発なる、御意見、御指導をいただきました。

○本分科会を通して、全体の領域全般において要約しうることは、

- (1) あらゆる学校生活の場をとらえ、全ての職員によって保健に関する管理指導の充実を図る必要がある。
- (2) 全職員の共通理解と協力を仰ぐ体制の確立を図る。
- (3) 保主、養教の専門職性を生かし、効果的であり、しかも合理的に学校保健についてリーダー的役割を持って集団指導の中に個人指導を重視して、積極的に児童生徒の健康の保持増進に努力する。

というような発表、討議要旨と伺われます。紙面の都合上、報告としては誠に要を得ていないことをお詫びいたします。

学校保健活動の推進に **カワイ** のビタミンAD剤

カワイ肝油ドリップ



製造発売元

河合製薬株式会社

東京都中野区新井2丁目51-8

学校保健用品 推薦公告

1. ハクジウナブキンランラン・キューティ
2. ハクジウナブキンニューソフトデラックス
3. ハクジウナブキンパーフェクト

(以上4品いずれも女子生理用品)

白十字株式会社 TEL 03(987)6111(代)

ハクジウナブキン 白十字株式会社

1. パーフェクト 経血のモレ・ニジミ等を防ぎ、なお使用後は水解する品。防水紙・ポリエチン等はなく内層に2重のPVA紙の特殊作用による防漏効果の新システムで、水洗に流せるユニークな品です。
2. ランラン 薬局専売品、函入 キューティ ポリ入クロロフィルシートに葉緑素紙を内層に挿入、ご使用中の防臭効果が特長です。
3. ニューソフトデラックス

バルブ全面封入型で変形等がなく、ソフトで薄いお徳用品です。

以上各品とも原料より製品迄、厳重な品質管理の下一貫オートメ。さわやかでコンパクトな1個包装です。

学校保健用品推薦更新 9月~10月

1. ウロチップC 第一化学薬品株式会社
2. バクテスター1号 関東化学株式会社

「結核の話」の一部訂正について

小・中学校指導参考書「結核の話」は、文部省のご支援によって学校保健会・結核予防会の編集で結核予防週間行事の一環として発行され、全国の国立・公立・私立小中学校に無料で配布されているものです。

ことしは結核予防法・学校保健法の一部が改正され健康診断、予防接種の方法が改められましたので、これに関連する内容に編集されました。

上記冊子について既にご覧のことと思いますが、表紙の3頁目(33頁)の中の(図案日本の建築)は(図案日本のあそび)にご訂正くださるようお願いいたします。

✦編集後記✦

1. 本号は11月8日~11月11日の宮崎市における全国学校保健研究大会を迎え、本会活動の紹介等を中心に特集しました。従って、毎回掲載する「保健会だより」を、本号に限り掲載することができませんでした。
2. 各地より会報の原稿をお送りくださりまして有難く厚くお礼を申し上げます。号を追って会報に掲載させていただく予定であります。なお、「校長先生の訓話」「養護教諭の広場」「保健会だより」はシリーズとして毎号各職域の方々に解放されておりますので、積極的なご投稿をお願いいたします。
3. 天高く馬肥ゆるの秋、健康体力や保健研修の好季です。お互いに健康第一でがんばりましょう。

(編集委員会)

歯ブラシはお口のサイズに合ったものをお選びください **バネットライオン ジュニア**



ライオン歯磨株式会社



あべ 静江

3層錠の〈効果〉お試しください

効能—胸やけ、のみすぎ、たべすぎ、消化促進
消化不良、胃のあたりが張って重くなるとき
胃腸の働きが弱っているとき、食欲のないときに。

▲新タケダ胃腸薬

☆3層錠…27錠・60錠・150錠 ☆顆粒…16包・40包